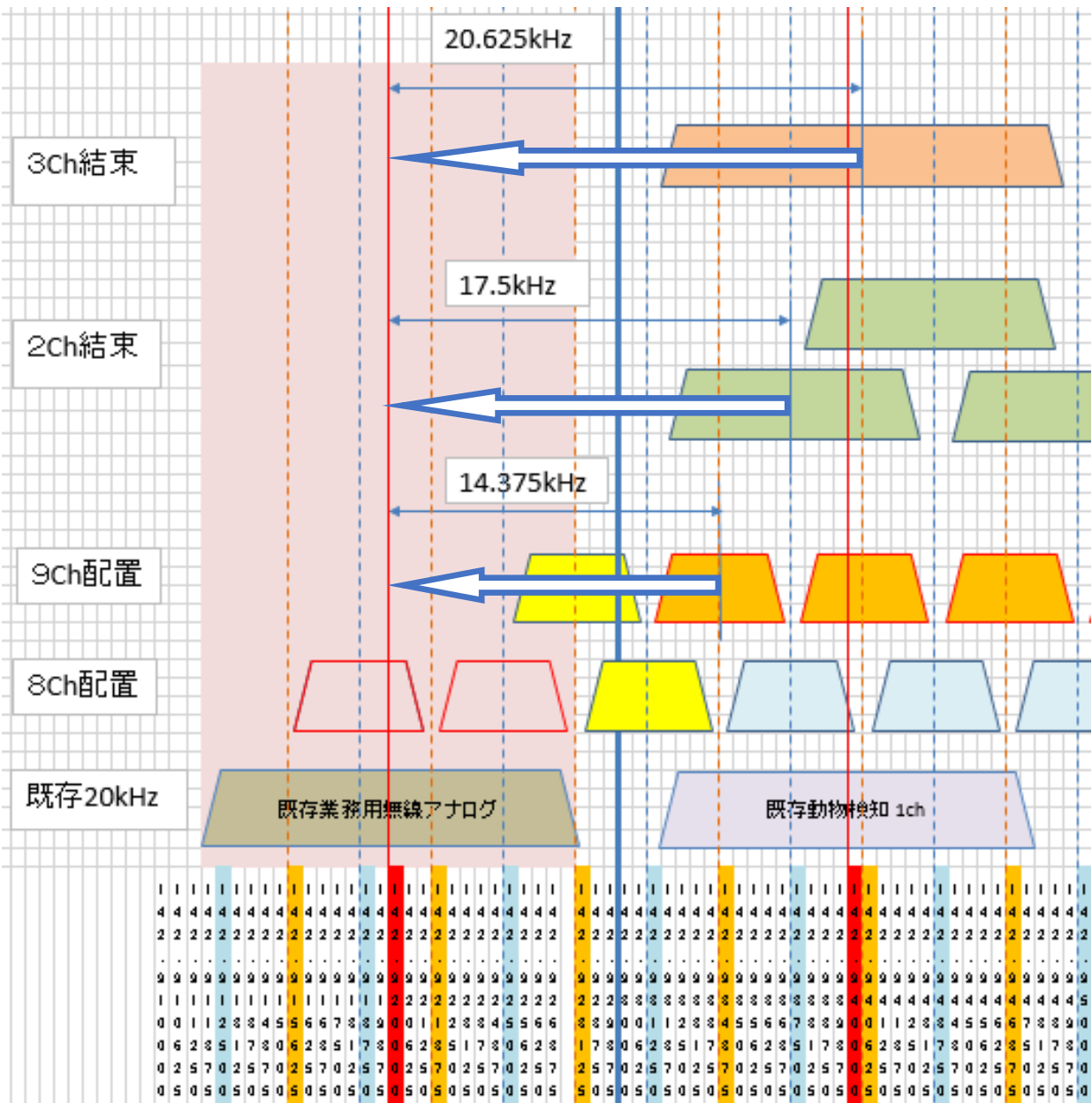


2015 年 10 月 6 日

隣接システムに与える影響について

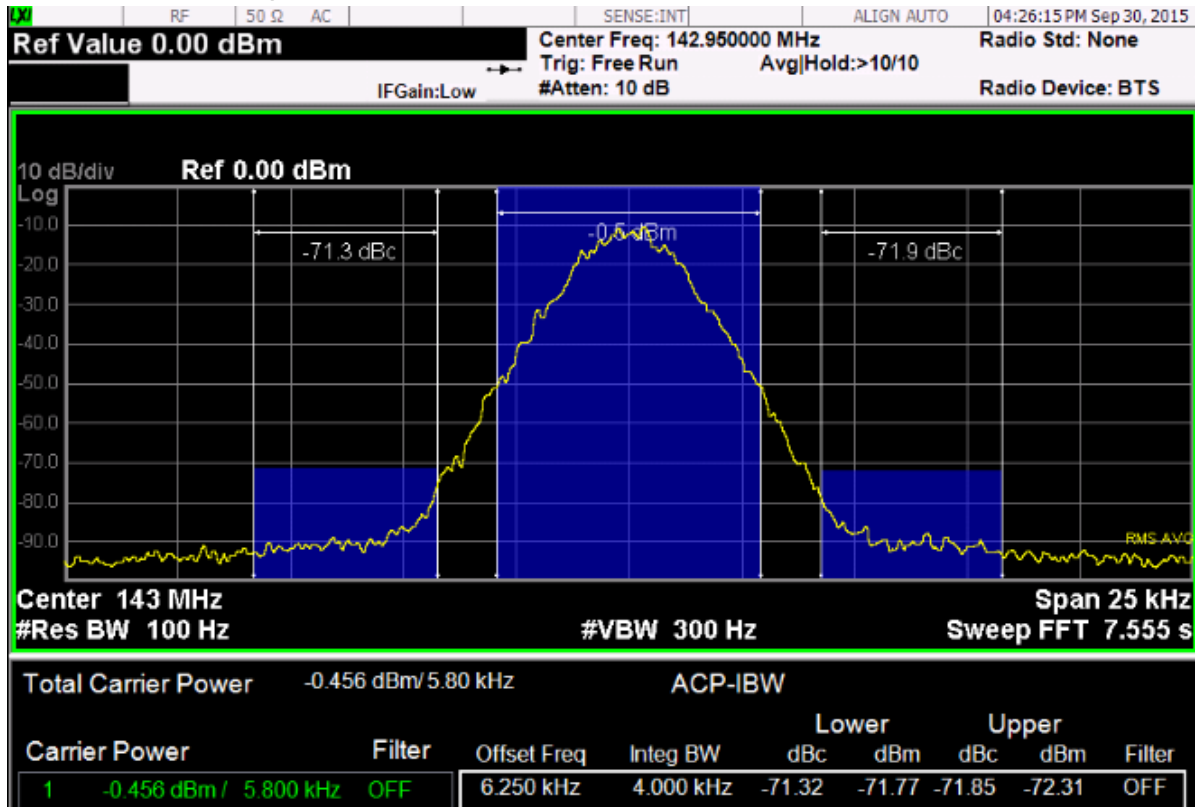
生体検知システムから隣接システムへの影響を確認する。4 値 FSK の無線機を使用して 1ch 時と 2ch 結束時の漏えい電力を測定する。(下図の既存業務用無線アナログに与える影響)

- ① 1ch 時に離隔周波数 14.375kHz で測定帯域が 16kHz の電力を測定する。
- ② 2ch 結束時に離隔周波数 17.5kHz で測定帯域が 16kHz の電力を測定する。

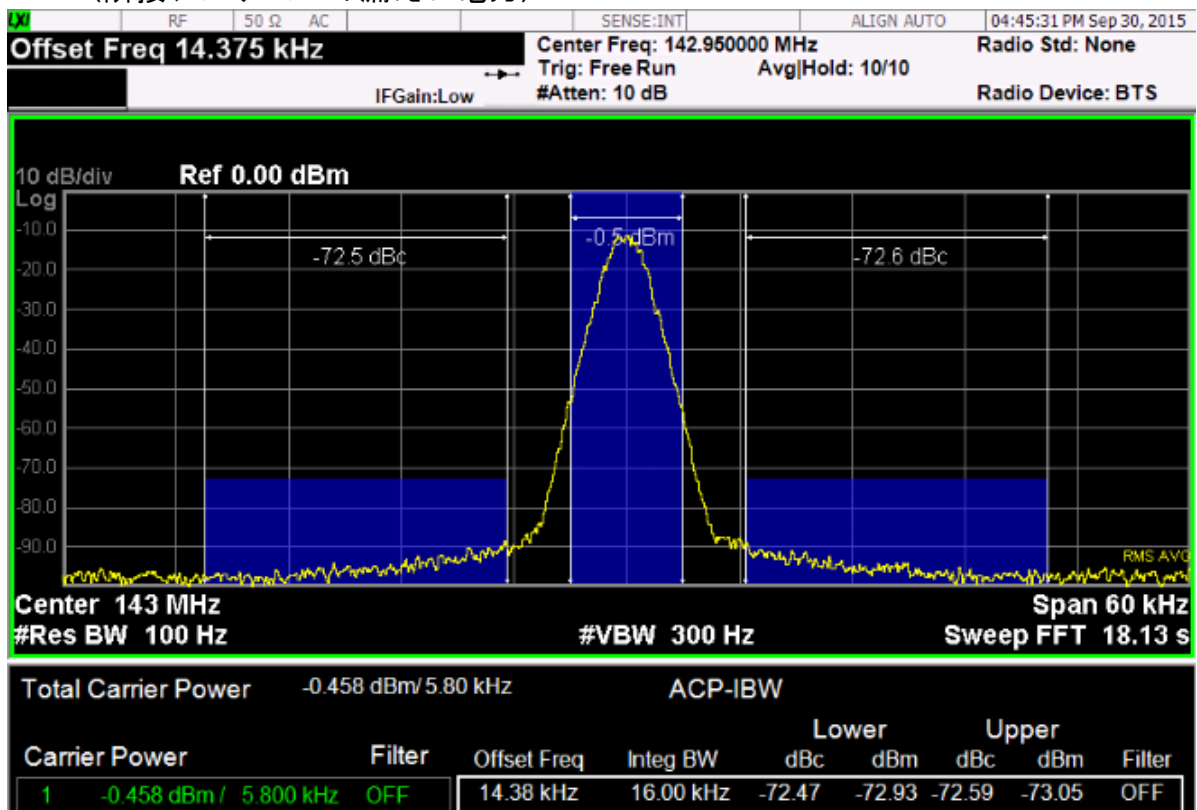


- ・チャンネル間隔 6.25kHz の無線機は、STD-T102 規格の空中線電力 1W と 10mW
- ・チャンネル間隔 12.5kHz の無線機は、APC0 P25 規格の空中線電力 1W
(周波数は無線機の設定の都合により全て 142.95MHz で測定した。)

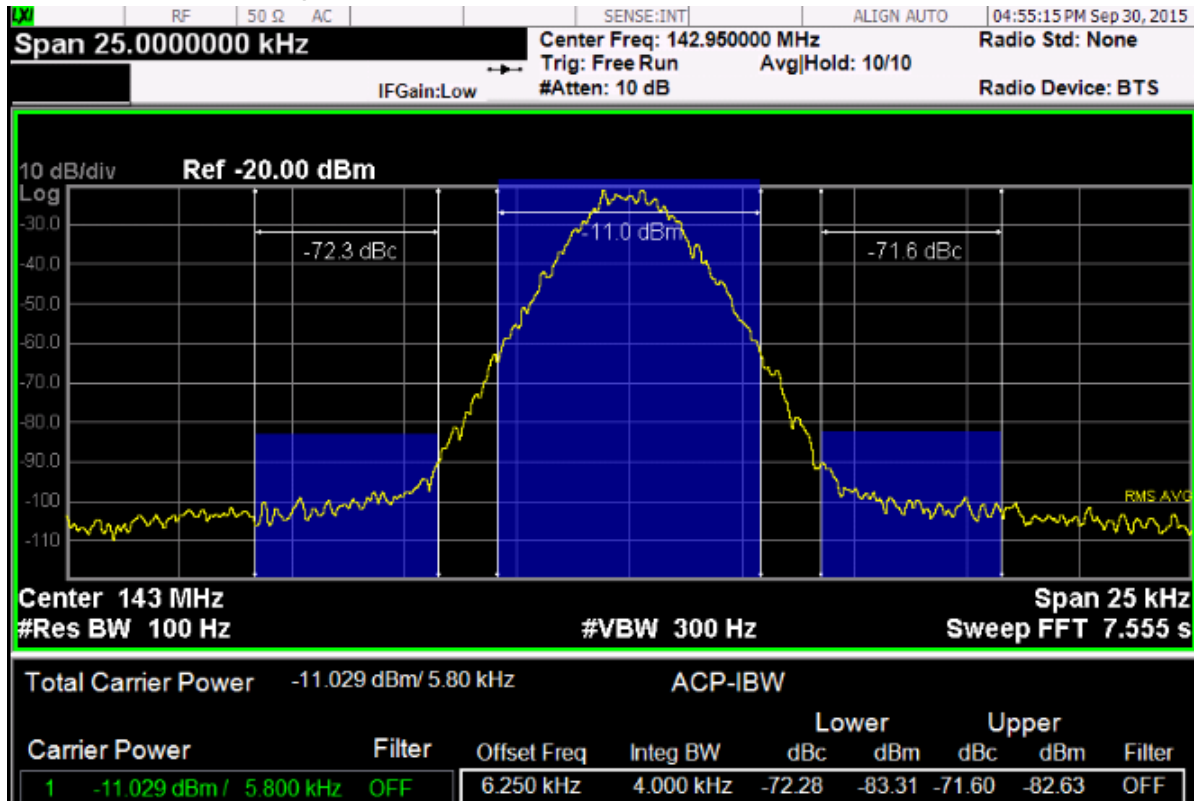
[1-1] 4値FSK 1W チャンネル間隔 6.25kHz 離隔周波数 6.25kHz 測定帯域 4.0kHz
 (生体検知の隣接チャンネル漏えい電力測定方法)



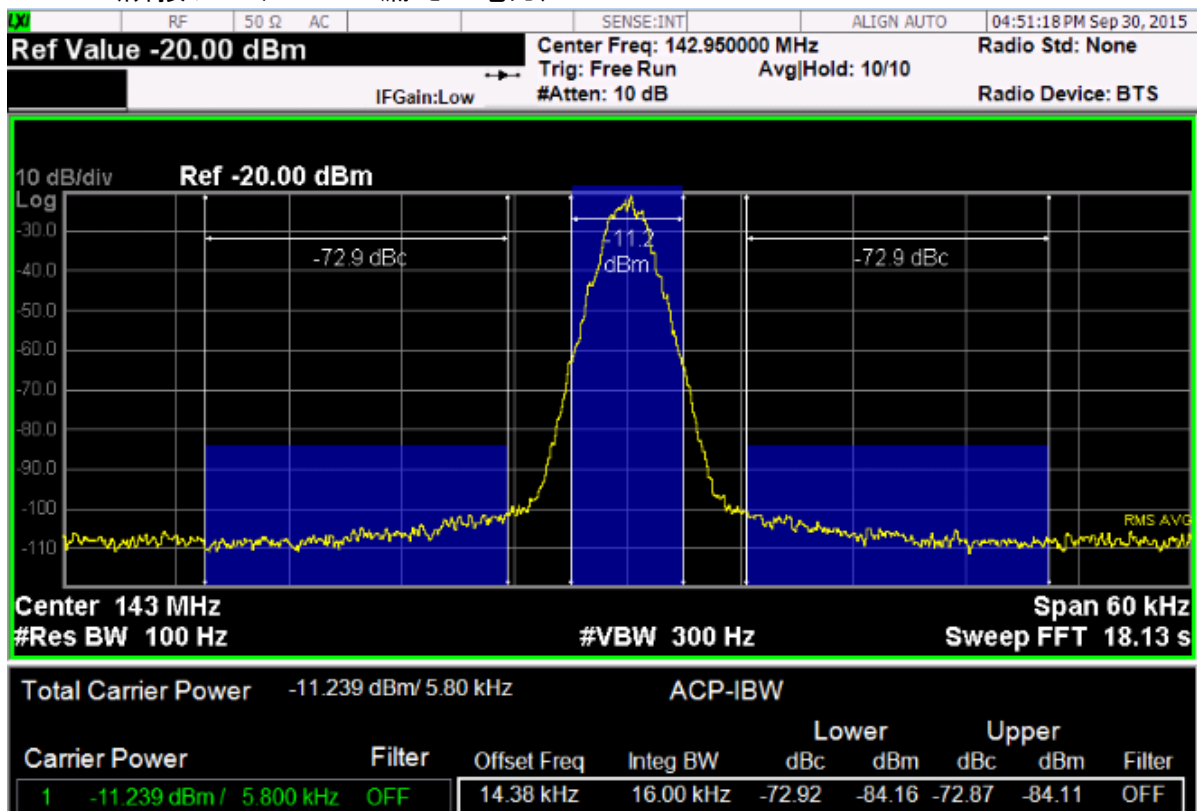
[1-2] 4値FSK 1W チャンネル間隔 6.25kHz 離隔周波数 14.375kHz 帯域 16.0kHz
 (隣接システムへの漏えい電力)



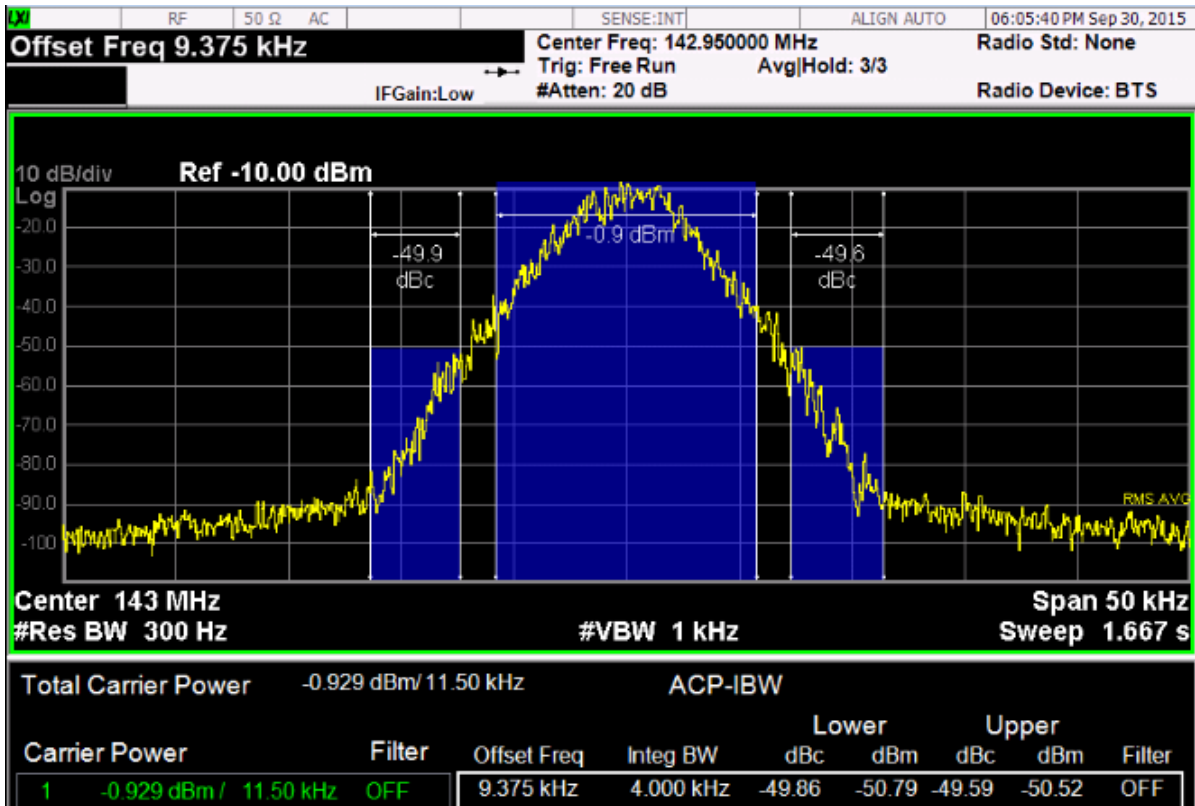
[2-1] 4値FSK 10mW チャンネル間隔 6.25kHz 離隔周波数 6.25kHz 測定帯域 4.0kHz
 (生体検知の隣接チャンネル漏えい電力測定方法)



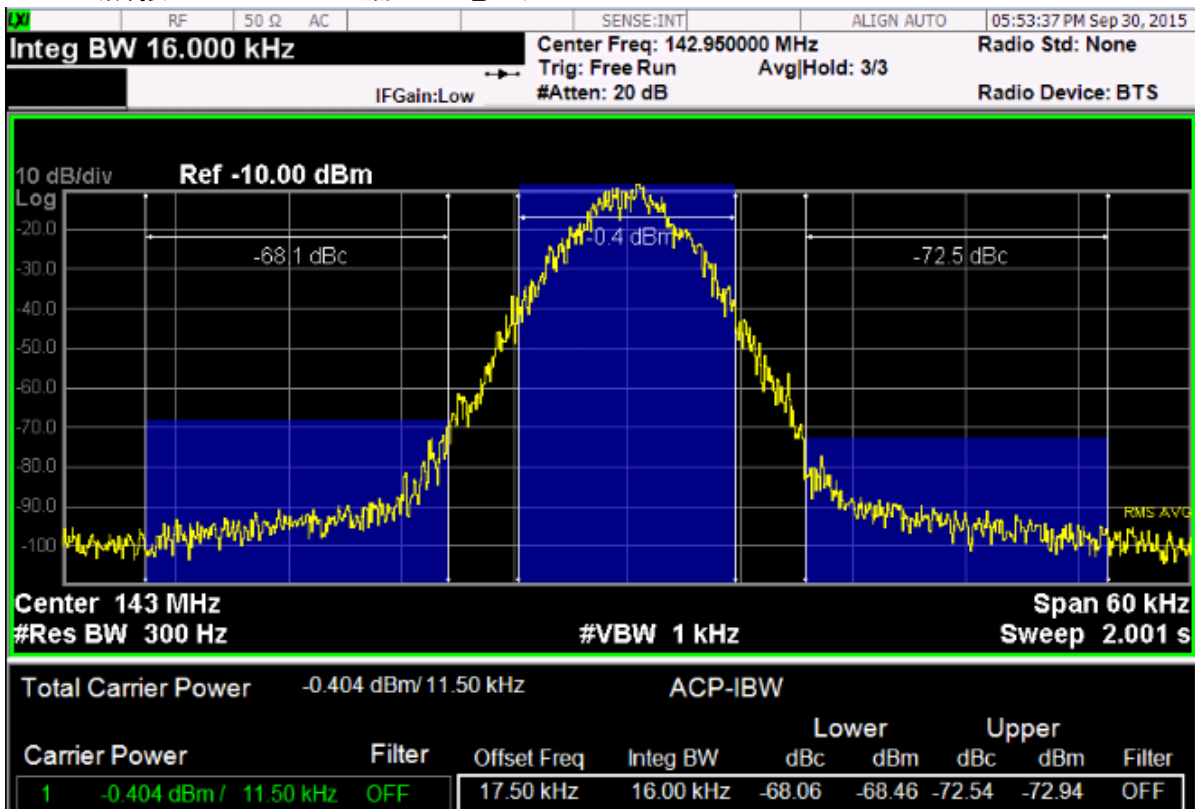
[2-2] 4値FSK 10mW チャンネル間隔 6.25kHz 離隔周波数 14.375kHz 帯域 16.0kHz
 (隣接システムへの漏えい電力)



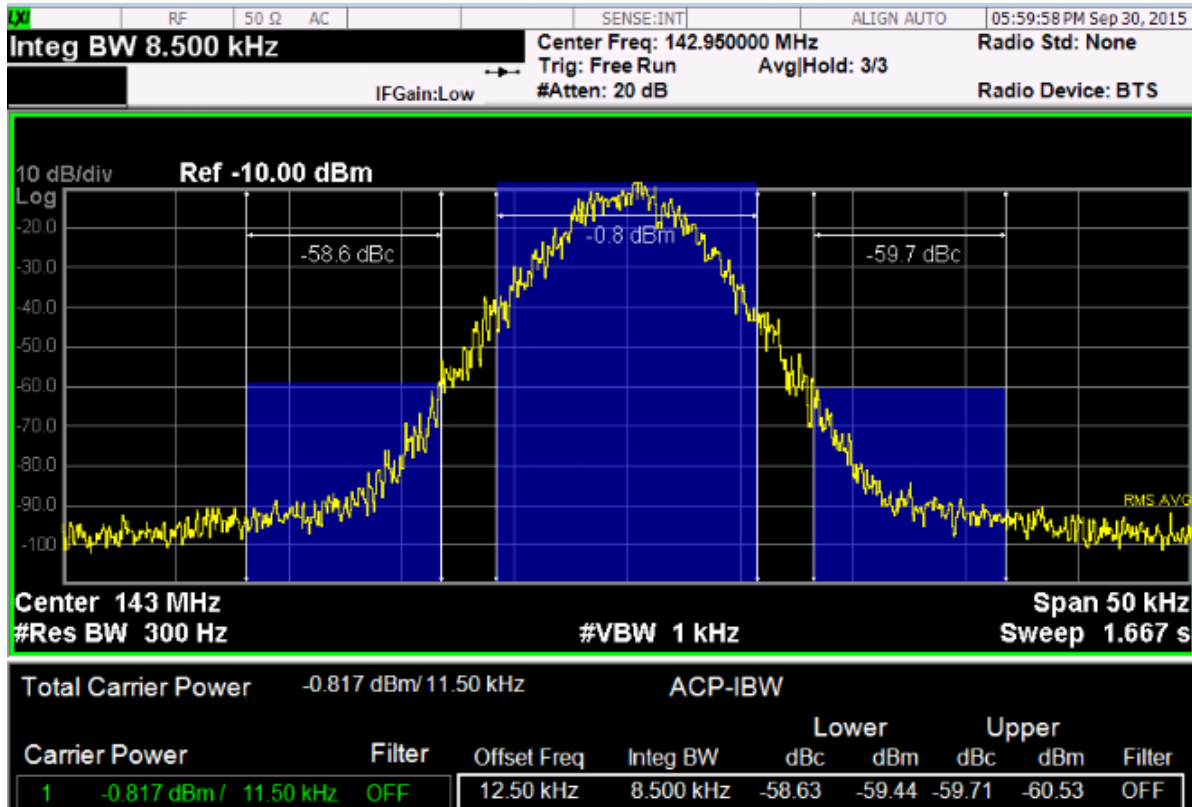
[3-1] 4値FSK 1W チャンネル間隔 12.5kHz 離隔周波数 9.375kHz 測定帯域 4.0kHz
 (生体検知の隣接チャンネル漏えい電力測定方法)



[3-2] 4値FSK 1W チャンネル間隔 12.5kHz 離隔周波数 17.5kHz 測定帯域 16.0kHz
 (隣接システムへの漏えい電力)



[3-3] 4値FSK 1W チャンネル間隔 12.5kHz 離隔周波数 12.5kHz 測定帯域 8.5kHz
 (業務無線で用いられる隣接チャンネル漏えい電力測定方法)



<測定結果>

No.	空中線電力	チャンネル間隔	離隔周波数	測定帯域	Lower 電力	Upper 電力
1-1	1W	6.25kHz	6.25kHz	4kHz	-71.3dBc	-71.9dBc
1-2	1W	6.25kHz	14.375kHz	16kHz	-72.5dBc	-72.6dBc
2-1	10mW	6.25kHz	6.25kHz	4kHz	-72.2dBc	-71.6dBc
2-2	10mW	6.25kHz	14.375kHz	16kHz	-72.9dBc	-72.9dBc
3-1	1W	12.5kHz (2ch 結束)	9.375kHz	4kHz	-49.9dBc	-49.6dBc
3-2	1W	12.5kHz (2ch 結束)	17.5kHz	16kHz	-68.1dBc	-72.5dBc
3-3	1W	12.5kHz (2ch 結束)	12.5kHz	8.5kHz	-58.6dBc	-59.7dBc

- ・朱書きが他システムに与える影響であるが、いずれも約 70dBc は確保でき、空中線電力が 1W の場合は $0.1 \mu W$ となり $1 \mu W$ 以下の規格は満足できる。
- ・[3-3]はチャンネル間隔 12.5kHz の通常の隣接チャンネル漏えい電力の測定方法であるが [3-1]の生体検知システムの測定方法では約 10dB 悪く測定される。(測定帯域が占有帯域に近づくため)

以上